

農林水産物等輸出ステップアップ推進事業

【73,727(0)千円】

対策のポイント

品目ごとの輸出実行プラン※¹を普及・充実するとともに、輸出ビジネスモデル戦略※²を策定することにより、輸出の取組を着実に進め、政策目標の実現に向けた取組を加速化します。

※1 輸出実行プラン

品目毎に新たに輸出に取り組むあるいは輸出を拡大するに当たっての課題と対応方策を取りまとめたもの。

※2 輸出ビジネスモデル戦略

意欲の高い農林漁業者等の輸出に係る新たな取組や先駆的な取組といった模範的な取組の指針となるもの。

輸出実行プランを活用し、具体的な輸出の取組に即して作成される。

政策目標

農林水産物・食品の輸出額を平成25年までに1兆円規模とする

<内容>

1. 輸出実行プランの普及・充実

輸出に関心を有する産地等を対象として研修会を開催すること等により、品目ごとの課題と対応方策を取りまとめた輸出実行プランの普及を図るとともに、輸出実行プランの充実に向けて生産者、関係団体・企業、行政等の輸出関係者が参画する検討会を開催し、輸出実行プランの充実を行う。

2. 輸出ビジネスモデル戦略の検討・策定

輸出関係者やコーディネーター、アドバイザー等が参画する検討会を開催し、産地関係者ととともに海外現地調査、国内現地調査、ブランドづくり等を行い、輸出ビジネスモデル戦略を策定する。

<委託先>

民間団体等

<事業実施期間>

平成21年度から平成25年度まで

〔担当課：大臣官房国際部貿易関税チーム輸出促進室 電話 03-3502-3408〕

農林水産物等輸出ステップアップ推進事業

参画

輸出実行プラン検討委員会

①輸出に携わる生産者、②関係団体・企業、③行政 等

検討・充実

品目ごとの輸出実行プラン

品目ごとに、新たに輸出に取り組む(あるいは輸出を拡大する)に当たっての課題と対応方を「輸出実行プラン」として明確化

H19に作成した輸出実行プラン

- 日本産米
- 野菜及び果実
- 花き
- 食肉
- 茶
- 水産物・水産加工品
- 特用林産物
- 加工食品(米菓、乾めん)

品目ごとの課題(例)

- 生産コストの削減
- 物流の改善
- ブランドの確立

対応方策(例)

- 生産・流通・加工施設の整備(HACCP対応施設、貯蔵施設等)
- 物流技術の開発・普及
- 統一ブランドの導入

農林漁業者等に対する
輸出実行プランの普及
(各地における研修会の開催等)

活用

参画

輸出ビジネスモデル戦略策定委員会

①生産者、②関係団体・企業、③行政、④コーディネーター 等

検討・策定

個々の取組ごとの輸出ビジネスモデル戦略

公募により選定された個々の取組について、コーディネーターやアドバイザー等の外部の者の協力を得て、「輸出ビジネスモデル戦略」を策定

輸出ビジネスモデル戦略のイメージ(例)

- 特定の品目について、輸出実績の無い(又はほとんど無い)国に対し、輸出を行う取組
- 輸出の規模を大きく拡大する取組

取組により得られる成果(例)

- 新規相手国ならではのトラブル情報(各種手続やバイヤーからのクレーム等)、マーケット情報(嗜好、商慣行等)
- 病虫害防除を集団的に進めるためのノウハウ、輸出に対応した加工・貯蔵施設の仕様等

追従しようとする他の農林漁業者等
に対する情報提供
(HP等を通じた情報の発信)



日本産農林水産物・食品の輸出の拡大



輸出に関心はあるが経験のない農林漁業者等
試験的に輸出を行っている農林漁業者等



特定の国に対し小規模な輸出を行っている農林漁業者等

追従する
農林漁業者等の
育成!